

日本洋書協会会報

Vol. 33 No. 10 (通巻389号) 1999年10月

理事会報告

9月29日(水)

1. 協会ホームページ開設計画について最終的に承認し、第一段階としてダイレクトリー電子化の推進をダイレクトリー委員会に指示した。
2. 会員増強委員会が選定した入会勧誘候補企業について大筋で了承した。
3. 2000年4月開催予定の東京国際ブックフェア(TIBF)で中心テーマになる「オランダ年」ブースで、JAIPによる関連書の展示・販売の打診がフェア事務局よりあったので、事業委員会で受託の可否を検討することとした。
4. 会報は2000年9月号を以て通算400号となるので、301~400号の合本製作について会報委員会で検討する旨の事務局長報告を了承した。
5. 共同物流計画の細目が決定したので、最終参加募集を行うことが事務局長より報告され、了承した。
6. 日本複写権センターへの申し入れを10月1日付で実施する。

海外ニュース

米国スーパー書店の営業動向

今年度前半における全米4大書店チェーンの売上は、10%の伸びを示した。1999年2月~7月の半年間での売上は、BARNES & NOBLE、BORDERS GROUP、

BOOKS-A-MILLION、CROWN BOOKSの4社合計で、29億5,000万ドルに上った。第2四半期のみでの売上は14億9,000万ドルと、10%以上の伸びだった。第2四半期でも6ヶ月間でも、BORDERSとBAMが最も売上を伸ばし、14%以上(6ヶ月間)及び15%(第2四半期)という伸び率だった。B&Nの売上はどちらの期間でも9%伸び、2月~7月でのCROWN BOOKSの売上は830万ドルと、前年比47.8%低下した。CROWNの売上低下の原因はチェーン書店の削減によるもの。昨年同時期の179店舗が、今年は95店舗にまで減ったのだ。第2四半期での売上は37%低下したものの、CROWNは純損失を3,270万ドルから320万ドルへと削減した。同社は破産の危機から脱したものだと思われる。

スーパー書店の売上が大規模チェーン書店の売上をリードしている状況は続いている。B&Nにおけるスーパー書店売上は、前半6ヶ月で12億5,000万ドル、第2四半期で6億3,300万ドルであった。DALTONの売上は、第2四半期で9.2%低下したが、これは過去一年間で66店舗のアウトレットを閉鎖したため。B&Nは今年前半で12のスーパー書店を開店し、11店舗を閉鎖し、7月31日現在で521店のスーパー書店を経営している。これに対してDALTONのそれは448店舗である。BORDERSにおけるスーパー書店の売上は23.5%上昇の8億3,320万ドル(6ヶ月)だった。WALDENのそれは3億7,090万ドルと、1.9%下降した。7月26日の時点で、BORDERSのスーパー書店数は274店、WALDENは888店である。

PUBLISHERS WEEKLY/OCTOBER 4, 1999

目次

理事会報告・海外ニュース	1	新・パソコン外論考(其2)	4・5	広告	8
委員会報告ほか	2・3	変わり行く英語学習法	6・7		

「ダイレクトリーの電子化」決定

9月29日の理事会において、ダイレクトリー委員会のダイレクトリー電子化に関する提案が討議され、提案の通りダイレクトリーの電子化が議決されました。来春には日本洋書協会のウェブサイトが開設され、現在の印刷物としてのダイレクトリーに掲載の情報は、全てインターネットで利用できるようになります。現在までの経過と、来春までの予定をご報告いたします。

ダイレクトリー電子化の賛否を問うために、7月9日に全会員宛にアンケートを郵送しました。回収締めきり日までにご返事を頂けなかった会員宛に、8月6日、FAXで再度お願いをしました。集計の結果は、以下の通りです。

発送件数	80
回収件数	34 (42.5%)
賛成	21 (62%)
賛成(条件付き)	7 (21%)
反対	4 (11%)
賛否表明なし	2 (6%)

回収率が50%を割ったことは残念ですが、賛成が条件付きを含めて80%を超えましたので、委員会としては、理事会に対して、電子化の実現を提案することとしました。

理事会での議決に基づき、丸善コンピュータシステム株式会社に対して、10月5日、理事長名でシステムの開

発を発注しました。システムの概略は、アンケートに添付した説明の通りです。開発費は、発注先にかなりのご協力を頂きましたが、初期投資としてダイレクトリー発行費用相当が掛かります。しかし、次年度からは運用費だけになります。

11月中に、検索方法、データ更新方法等を決めた上で、例年のように、ダイレクトリー用のデータの提出をお願いすることになります。データ項目、記入方法等で、多少の変更が予想されますが、ご協力をお願いします。

来春には試験運用を開始します。試験の結果に基づいて、可能な範囲でシステムの手直しをします。例年のダイレクトリーと同じく、次年度総会の開催前に、皆様にご利用頂けるようにする予定であります。

電子化について、アンケートで頂いた皆様の貴重なご意見は、可能な限り設計に盛り込むよう努力する積もりであります。しかし、諸々の事情で、今回の作業では採択できないご意見も出てくるかもしれません。時間をかけて、会員各位のご意向が反映できたらと思います。

ホームページのデザインを決めるための前提となるウェブサイトのコンテンツは、複数の委員会が協議した上で決める必要があります。この件については、理事会でご討議いただき、理想的な形で決まるものと確信しております。当委員会としては、当面、ダイレクトリーの部分の開発を進めてまいります。進捗状況は、適当な方法で、会員の皆様にご報告いたします。

山川(ユサコ株式会社)記

第93回 72会ゴルフコンペ

武蔵カントリークラブ豊岡コース

1999.9.10(金)

暑い夏の名残り。まだまだ蒸し暑い曇り空の日。中林さん(日本出版貿易)のコース武蔵カントリークラブ豊岡コース。武蔵野の面影を残してグリーンが心地良い。5番324ヤードのミドルホール。雨宮さん(タトル商会)のセカンドショットはナイスショット。ボールは真っ直ぐピンに向かいグリーンにオン、そしてそのままカップ

イン。美事なイーグル!快挙!快挙!そして5組20名での熱戦は続く。

優勝は44/43と素晴らしいスコアで石橋さん(丸善)。「初参加で、素晴らしいコース、パートナーに恵まれました。」「3年間ニューヨークに居てニューヨークも良かったが、日本のゴルフも良いと思う。」とのコメント。

「フェアウェイが広くフラットで普段になく良いスコアで楽しいゴルフが出来た。」と柳さん(ワタナベ流通)。初参加で2位に入賞されました。3位には斎藤さん(UP S)。41/41、G82。実力通りの美事なゴルフでニアピン賞、ベストグロー賞も併せて獲得されました。

プレーの後のパーティ。ビールで喉を潤し、酒を酌み交しながらの成績発表、表彰式、入賞者のスピーチ。敏談と大いに盛り上がりました。中林さん（日本出版貿易）の「初参加の人が上位で良かった。親睦が深められて良かった」とのスピーチでお開きとなりました。

成績表	G	HC	NET
優勝 石橋正久（丸善）	87	18	69
2位 柳忠士（ワタナベ流通）	104	30	74
3位 斎藤純生（UPS）	82	4	78

釣り同好会 あじ釣り大会

10月2日（土）

厳しい残暑も10月に入ると急にホッとひと息つける感じになった。ようやく秋の訪れが実感される10月2日、恒例のあじ釣り大会が観音崎の走水沖で開かれた。心配された大型台風の18号も10日ほど前に過ぎ去り当日は風もなく波も静かで快適な釣り日和となった。

今回は久しぶりに若い女性の参加を得て集合のときからなごやかな雰囲気につつまれていた。仕立船の松栄丸は定刻7時50分に走水港を離れ航程10分ほどの釣り場に到着。イカリをおろし、エンジンを止める。静かな海で秋の潮風が心地よい。船長の「始めて下さい」の合図でいっせいに竿を出し始めた。魚探をのぞく船長の「魚は海底から2メートル50位」との指示でそれぞれ仕掛けを合わせる。まもなく船のあちこちから喚声があがりはじめ、20センチ前後巾広の待望のアジが釣れだした。いっとき程で魚信がバタリと止まる。船ばたをたたく波の音だけになると船は次のポイントへと移動した。魚群を追って停止した釣り場は大アジねらいで水深80メートル、オモリの追加で150号（約600g）とかなり重い。コマセえさを繰り返しのつめかえ、少々疲れはじめた頃、船中さわがしくなり、タモ網をふりまわす様子が目につき、35センチ前後の大アジが上り始めた。初参加で船づりが始めてと云う鶴英里子さん（東亜ブック）には普段無口でぶっきら棒な船頭さんもニコニコ顔でつり方を教えている。たちまち大アジやサバをつり上げて大喜び。まわりもそのにぎやかさに包まれていた。同じく初参加の佐々木さん（雄松堂）もいきなり良型のアジを上げ周囲を驚かせたが続いて竿が弓なりになり、仲々上らず一人奮闘していたところやっと姿を見せたのは50センチ

4位 雨宮孝行（タトル商会）	101	20	81
5位 神原正（オックスフォード）	93	12	81
ベストグロス 斎藤純生（UPS）	G82		
ドラゴン 鈴木幹夫（丸善） 和田茂（大洋交易）			
	松浦拓己（丸善） 村上道夫（東京ブックランド）		
ニアピン 斎藤純生（UPS） 鈴木幹夫（丸善）			
	斎田利幸（三善） 石橋正久（丸善）		
イーグル特別賞 雨宮孝行（タトル商会）			

(H. N. 記)

もある様なサメであった。しかしその後もたて続けに大アジを上げてベテラン達から「ここ走水のアジは昔から始めての人にはよくかかるんだ」とひやかされていたが今回、堂々3位の入賞であった。船は2、3回ポイントを移動してサバまじりのオマツリで大騒ぎしながらも船中、各人ともそこそこの釣果を得ている様であった。午後になると秋の空のたよの通り、のどかだった海上にも幾分風が出はじめ波も高くなってきたので2時30分納竿とする。船宿に戻りサービスのざるそばを食べ終り成績の発表となった。結果は入賞が指定席のような広瀬、塚本（大洋交易）両氏を始めとして以下の通り。（サバは除く）

優勝 広瀬（大洋交易）	13匹
2位 塚本（大洋交易）	8匹
3位 佐々木（雄松堂）	6匹
4位 鶴（三）（東亜ブック）	5匹（大）
5位 内田（東亜ブック）	5匹
（敬称略）	（T社 MK記）

お知らせ

事務所を移転しました

会員名：トムソン コーポレーション（株）

新住所：〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-13

第5野村ビル 3階

Tel: 03-5282-5180（代表）

03-5282-5182（E L T）

03-5282-5185（専門書）

03-5282-5187（経理）

Fax: 03-5282-5181

業務開始日：1999年8月30日

新・パソコン外論考（其2）

宇田川一彦 Udagawa Kazuhiko

◆Dancing on the ceiling／寝ては夢、醒めては幻。いつもあなたが、私のベッドの上の天井で踊っている

子曰、君子不重則不減、学則不固、

The Master said, "A gentleman who lacks gravity does not inspire awe. A gentleman who studies is unlikely to be inflexible."

（論語／学而・Confucius:The Analects/Book I）

【超抽意訳：先生は言われた。紳士は、重々しくなければ威厳がないものじゃ。また、紳士たるものは、学問をすることで、頑迷ではなくなるものだよ】

【外注：徂徠の訳は、いささか違ってきます。「重々しきことならざれば則ち威あらず」と読み、重要なことではなければ威厳を取り繕う事は不要、と解釈します】

■ノートパソコンをメインマシンに

先号の最後に、Win98搭載ノート型は、CD-ROMドライブ搭載、HDD内蔵、FDDも搭載、モデムカード内蔵、一応デスクトップと以上とは言いませんが、利便性を考えると、ノートパソコン一台で十分「事」足りる、と申しました。これは、この通りだと思います。

ただ、これ1台きりのメインマシンとして、ノートパソコンを使うというのであれば、多少の覚悟がいります。

が、やってやれないことはありません。

譬ていえば、「写真」を撮るのに、最高級 AF35mmカメラ Canon EOS-IN〔フルタワーデスクトップパソコン P3-600MHZ に相当か〕で撮ろうが、おなじ入門機・ファミリーユースの Canon New Kiss-3〔A4オールインワンノートパソコンに相当〕で撮ろうが、ある程度写真技術〔パソコン知識〕があれば、「仕上がりに」は大勢に影響がないといえます。

ということであれば、デスクトップパソコンと比べて圧倒的に『設置スペース（使わないときも邪魔にならないようにすることが可能）』が少なく（狭くて）済むことが最大のメリットといえます。強いて一言でいえば、『簡単に使用できる』こと、これがノートパソコンの存在意義なのです。これ以外は、大したメリットはありません。

ただ、持運びができるのも多少メリットといえます。このことから、外（旅先などで）でもインターネットができることにはなります。が、まあ、新幹線の中でイン

ターネットなどとは、考えない方がマシと思います。これは、単に日本の通信（というか電話通信）インフラストラクチャーの整備が、まだまだ遅れていますので、こんなことは考慮の外です。また、毎日旅先でも internet をしないと、というフリーク（熱中者）でもないかぎりあまりノートパソコンを持運ぶものではない……。

また、いろいろな周辺機器を繋いで、拡張的に使用できるのもノートパソコンの強みという説もありますが、これにも与みしません。やれ、バリバリの 3D グラフィックゲームをやりたいとか、音楽をやるので音質のいい外部スピーカーを繋ぎたいとか、はたまたスキャナーを繋いで写真を加工して云々というのもフリークの方に譲ってください。

なぜなら、ノートパソコンは、『それ自体で完結のタイプ』ですから…。精々、繋いでいいものは、企画書類や報告書等々を打ち出す際の「プリンター」のみです。少々響が刺激的ですが、ICU（日本にある某基督教大学ではなく、Intensive Care Unit）の中の人のようにいろいろの機器類とチューブで繋げて、「身動きできない」ようにノートパソコンをしてはいけません。

このようにいろいろな機器類と接続するのであれば、もうこれは当然デスクトップ（タワー型）の方が拡張性に富んでいますので…。

■ノートパソコンの選択について

で、実践的実用的なノートパソコンの選び方を考えてみます。

現在流通しているノート型のパソコンは各社各様のものが出ています。正に百花繚乱といえるほど、デザイン・大きさ・価格・CPU の違い・メモリーの違い等々、差異を挙げていたらキリがありません。そこにもってきて、パソコン店によっては、メモリー増設や HDD 容量アップをしているところもありますので、百鬼夜行状態です。

で、大きく分けて次の 5 タイプに分類します。

★A4 サイズオールインワン

【(1) OS は Win98 搭載、(2) CD-ROM ドライブ内蔵搭載、(3) 4.3GB 以上の HDD 内蔵、(4) FDD 搭載、(5) RAM64MB 以上、(6) モデムカード内蔵、(7) スピーカー搭載、(8) 必須ワープロソフト + 表計算ソフトプリインストール済、(9) CPU としては、P2-400MHZ/Celeron 400MHZ/K6-2=400MHZ クラス以上のもの、(10) 画面の解像度 XGA クラス、(11) 画面サイズは 14 インチ以上、(12) 重量は、3.5kg 以下のもの】

★A4スリムサイズ ★B5サイズ

【上記2種類は(4)(6)が外付けになっているものが多い】

★B5サイズスリム ★超小型

【上記2種類は(4)(6)が外付け、(8)がオプションになっているものが多い】

そこで、メインマシンであることを考慮すれば、もう迷うことはありません。次のもので決定です。

◎二重丸【A4サイズオールインワン】

他のものは、同じA4サイズでもスリムなものやB5サイズや超小型のものまでは、いわばサブマシン（デスクトップマシンにもう1台、携帯性のものが欲しい際のマシン）としての利用価値と思います。

二重丸以外のノートパソコンは、やれFDDを外付けたり、internetをやる際には、モデムカードを外に付けたりと、「ICU状態」にせざるを得なかったりします。また、ワープロで使用したり、データなどを打ち込む際にキートップの幅が最低限17ミリ欲しいものです。A4サイズだと、なんとかクリアしていますが、やはりB5サイズになりますと、いかんせん小さいです。打ち込みミス、誤操作の原因ともなります。また、物理的制約から画面サイズも小さいし、解像度も少し劣りますので…。

で、独断と偏見に満ちていますが、最後に実践的ノートパソコン購入前の必須項目を列記してみます。

液晶ディスプレイ12、13、14、15インチと解像度現在、パソコンの解像度としては、次の4種があります。

①解像度VGA(640×480) ②解像度SVGA(800×600)
③解像度XGA(1024×768) ④解像度SXGA(1280×1024)＝既述しましたように14インチ以上、③以上

サイズ/重量＝3.5kg以下

入力/キートップの大きさは幅17ミリ以上

コネクタの数/種類-拡張性

PS2/シリアル/モニター/モデム/LAN/パラレル/USB/FDDドライブ/CD-ROMドライブ/AC電源/PCカードスロット/マイクヘッドホンラインイン/NTSC端子(ビデオ・映像)/携帯電話接続端子/iLINK(IEEE1394)＝以上のものは、二重丸のものには揃っているが、多ければ多いほど後で楽

CPU・内部メモリー・内蔵HDD

＝CPUは、P2またはCeleronの400MHZ以上のものであればgood。内部メモリーは64MB以上。内蔵HDDは、できれば8GB以上。蛇足ながら、年末商戦用にはCeleronの433MHZ以上、HDDも約12GB以

上のものが11月になれば発売されます。

添付ソフト/最初から入っているソフトの数

＝MS社のOffice2000と同等のものが、プレインストール(バンドリング)されていればOK。

CD-ROMドライブ

＝必須。24倍速以上。年末商戦では40倍速が主流か。

ワンアクションでinternet、CD、DVD操作

＝あれば便利。ほとんど二重丸機種には付いている

価格は、20万ないし25万円以内

＝メーカー品でないショップものの安い(せいぜい安くても、2、3万円ですから)ものは、なんだかボディ(筐体)がヤワにできているようでした。先般アキバで確認済み。これは、持運ぶこと・移動を考慮すると、しっかり頑丈にできた有名ブランド品をお勧めします。何かのはずみに落とすときの「安全保証」も頭に入れて…。

上記の項目を「すべてクリア」して購入に踏み切ってください。

■ノートパソコン使用記

ということで、宇田川式にcheck項目をクリアして選んだノートパソコンの使用(顛末)感を記してみたいと思います。

今回、筆者が使用したノートパソコンは、永年の好誼で日本電気株式会社から拝借したものです。

A4サイズオールインワン、型式は、NEC PC-98 LaVieNX(PC-LW40H/84D6)です。(1)Win98搭載(残念、借用機はSecond Edition版ではない)、(2)CD-ROMドライブ内蔵搭載、(3)6.4GBのHDD内蔵、(4)FDD搭載、(5)RAM64MB、(6)モデムカード内蔵、(7)内蔵スピーカー+イヤホン端子付、(8)Office2000バンドル済(一太郎バックもある)、(9)Celeron400MHZ、(10)画面の解像度XGA、(11)14インチ、(12)重量は、3.5kg。これに、添付のマニュアルは何と10数冊(平均160頁)、とまれ読まずにスイッチON。

で、軽快にWin98が立ち上がってきました。

マウスの代わりに、このLaVieNXは、NXパッドが内蔵されています。これは、マウスよりは慣れると(習熟には15分間あれば十分)数段上です。友人でマウスで腱鞘炎状態になったのが約1名いまして、彼はノートではジョイスティック型を使用していますが、また折れたとか、ゴムが減ったとかブツブツ…。

ということで、ノートパソコン実践の使用記(プリンターとも接続)は次号以降で。(乞御期待)

変わり行く英語学習法

島岡 丘

これまで外国語、特に英語に対する考え方は大きく変化した。今から一世代前には英語はコミュニケーションの道具であるように言うと、英語圏に行けば、下町のホームレスの人でも流暢にしゃべっている、英語の重要文献を咀嚼し、視野を広め、思考を深め、英語を通して人生をより深く理解するのが高等教育の重要な課題である、という考え方が中心だった。現在では、簡単な英語でコミュニケーションが出来なくては商用にすら差し支えるので、まず役立つ英語を、という主張が支配的だ。文部省の新しい指導要領にも「実践的コミュニケーション」が強調されている。

8月27日（金）午後11時から70分にわたって行われたNHK教育テレビ「金曜フォーラム」は、「21世紀の英語教育への提言」のテーマを取り上げていた。私自身も英語教育に40余年かかわってきたので、興味深くその番組をみた。

パネラーは、小学校からすべて英語で行っている加藤学園の理事長、英語で商売をしなければならない会社の取締役、海外と英語を通して文化交流を常時行っている大原美術館の理事長など、第一線の仕事をされている人たちであった。

まず、日本人の英語力がTOEFLの試験の得点結果を比較すると、世界で最低のレベルであることの指摘があった。具体的な各国の得点が上げられ、オランダが最も高く612点、アジアではシンガポールが最も高く603点、日本はアジアで最低の496点で、シンガポールと比較すると107点も低いという発表があった。受験者数、受験者の種類などの説明が一切なかったのは残念であるが、ともかく日本人の英語力のレベルが低いことはよく指摘されることである。これに対して、いや日本人の英語力は、電化製品、自動車、カメラなど日本製の商品と同じように、世界一流である、と言う人はごく少数であろう。不特定多数の受験者の得点を平均してしまうとあまり当てにならない結果が出てしまうことがありがちであるが、私は少数の意見かもしれないが、日本人の英語力もあまり悲観するにおよばないことを書いてみよう。

私がフルブライト教員プログラムで、ほかの3名の日本人と一緒にサンフランシスコ州立大学に留学したとき、

世界から14カ国から計20数名と英語学などの授業を受けたが、試験をされると成績のトップは常に日本からの留学生4人であったし、ブリティッシュカウンシル資金で留学したウェールズ高等工科大学のディプロマコースでは世界13カ国から集まっていたが、これもトップは日本人だった。また、かなり昔の話になるが、私の同級生の一人は商社に就職してから、すぐに電話一本でシカゴの商社と取り引きし、4億円相当の商談をまとめたことも事実である。

一般的に言うと、アメリカなどの留学した日本からの高校生が常にクラスで一番になるのは数学の試験である。これは日本語には九九で口調よく掛け算を暗唱しているせいであるらしい。日本人がいつも世界一というのも問題があるが、日本人の英語力が世界最低であることを無条件に言うのも問題がある。要はことばを通してどんな有意義な仕事をしているかで判断されるべきである。英語力は日本が最低であるということを知ると、半世紀前の日本の暗い世の中を思い起こしてしまう。

英語教育の実情は昔と変わってきた。昔は音読を徹底して行い、文字面の音声化の段階から、著者の意図を表わし得る段階に至るまで反復したものである。私はこの学習法は今でも有効だと思っている。その理由は音声を伴って英語を学習すれば記憶に定着し、その応用が可能になるからである。この音読中心学習法は誰から教わるわけではなかったが、母語と同じ流暢さに近づけようとしたことがよかったのかもしれない。そのおかげで大学入試の際にも英語で余り苦労することはなかった。

今では、英語を学習する環境は昔よりはるかに恵まれている。自分勝手の発音で音読練習するとどうしても試行錯誤になり、回り道になりやすいが、現在は、模範朗読のテープや、さらに操作が便利で音質がよいCDが使われるようになっている。そればかりでなく、英語を母語とする授業補助者が5000人以上、全国各地に配属され、直接英語を聞いたり話し合ったりすることができるようになっている。

その意味でも、日本の英語教育には改善の明るさが見えるが、たまたま大学院に入ってきた中国からの留学生から鋭い指摘を受けたことを申し上げたい。その院生は日本人が学習意欲も学習目標を失っているのではないかと指摘し、発音記号を読めなければ新しい単語も覚えられないのに、発音記号を覚えようとする意欲も目標も立てていないのは残念至極と言って、中国の英語のテキスト

トを私に見せてくれた。日本で出版されている文部省の英語検定教科書と較べると、紙の質、紙面の魅力などは差があるものの、その中国で発行された入門期の英語のテキストは入門期の1課から8課まで、すべて発音記号を覚えさせるためであった。その中国人留学生は、日本の英語の教科書がどうして大事な発音習得手段を始めから徹底して教えようとしなのかと真剣に私に話してくれた。

情報化時代のおかげで、世界の主要国の英語教育の事情もより得やすくなった。その中で、約半年間をかけて世界主要8カ国の英語教育事情を視察し、1冊の本にまとめられた太田朗著『私のグランド・ツアー—英語教育「再考」の資料』（丸善、1999年、7月発売）を読んでみて、デンマークの英語教育は特に注目した。放送などで、“English Without a Book”を長年実施すると同時に、「ほとんどどの教科書も、少なくともはじめの巻ぐらゐは、行間もしくは別のところにテキスト全部の発音記号の転写文が示してある…」（52頁）。

日本でこのようなことがなかなか出来ないのは、英語を必修から外し、「国定」を止め、教科書を「商品化」してしまったことである。そのため、学習者のためにぜひ「飲ませなければならぬ良薬」を「口に苦い」からと後回しにしてしまっているのではないかと気がかりになる。韓国も教科書は国定に近いものであると聞いているが、日本の場合、国定は不可能である以上、教科書著者の良心と識見に期待したいものである。

この次の文部省指導要領では英語が選択科目から必修科目になるという。必修とはすべての国民が必ず学習しなくてはならない科目ということになる。また、2002年から公立の小学校から英語が導入されることも新しい動きである。

パネラーのお一人、大原謙一郎氏のご提案の中で、リズムと強弱をしっかりと教えあとはカタカナでいいというご意見を出された。私も10年前からカタカナの規則性と柔軟性に注目し、英語に近い発音はカタカナを少し変えるだけで可能であるという仮説を立て、その実証をしつつあるが、筆者が鳥飼玖美子さんと数年前に執筆した『リトルスターシリーズ』が韓国と、台湾に続いて中国本土へも翻訳されて出版されることになったのはささやかな国際貢献ではないかと思う。『リトルスター英絵辞典』ではすべての例文約1500文に近似カナ表記をつけており、そのように読めば英語として通じるのである。録

音に立ち会ったとき、吹き込みをしてくれたアメリカ人から、自然のスピードで英語を読むとカタカナ通りになりますね、と言ってくれたことを思い出す。その時の文は

Aの項の見出し語<a>で

a glass of milk, please.

「ア ムレア^ハザヴ メウク ヲリーズ、

また、見出し語<accident>で

He had a bad accident.

「ヒ ヘア^ハダ ベア^ハデアックスィドント」

の表記だった。日本語のように「子音+母音」をまとめて発音する方が、「子音+母音+子音」+「母音」のように発音するよりも英語らしくなるという私なりのささやかな意見だった。最近流行の「最適性理論」でも開音節がより自然な音節であることを主張している。

英語のカナ表記の反対理由は日本語と英語とは音声体系が異なり、例えば、lとrとは日本語では表せない、thとsの違いが表せない、fとhとの区別がカナではできないという意見が多い。私は英語発音表記学会（本部：茨城キリスト教大学）の今年の年次大会でlightとrightは「ムライト」と「ウライト」で、sinkとthinkは音実質の強弱に注目して、「スィンク」と「スインク」で、fatとhatは「ウ^オェアット」と「ヘアット」で区別できることを提案している。そしてその提案を元に、日本能率協会から、拙著『カナ表記で通じる英語の発音』を出版していただいた。8月27日の朝日新聞の夕刊の広告欄に出ていたのでご覧になったかたが多いと思う。

その本の中で、[f]を示す新たな文字、「ウ^オ」を用いたが、それは「ヴ」と無声/有声の対立概念をはっきり示し、どちらも上の歯に下唇を添えて出す摩擦音であることを示すので、歓迎されることを望みたい。このような試みが広く知られるようになるには、かなりの年月がかかる。カナ表記の試みは10年を経過したが、まだ依然として疑問視する意見が強いようだ。21世紀の子供達は母語の表記法を使ってもっと気楽に着実に英語を学習するようになることを期待したい。日本語のカナは大小の表記が自由であり、表記号として優れているように思われる。今年の夏、英語発音表記学会の招きで来日したUCLA大学院ディレクターのBruce Hayes教授はIPAの表記にこだわらず、Kana-IPA、つまり、KIPA（カイパ）を使って日本人が英語の発音を気楽に身につけるよう励ましてくれた。（茨城キリスト教大学）

BBC EDUCATION & TRAINING

BBC VIDEO LIBRARY

好評発売中

ピープルズ・センチュリー

全26話堂々の完結

オリジナル全長版(英語音声)ビデオ全26巻

シリーズ特別価格¥900,000で好評発売中

NHKオンエア「市民の二十世紀」のオリジナル全長版(英語音声)です。

テーマ音楽:作曲ズビグニエフ・ブライスナー、演奏ワルシャワ交響楽団/ナレーター:ショーン・バレット、ヴェロニカ・ハイクス/監修:ジョン・ロバーツ、ウィリアム・マックニール(ジョン・ロバーツ博士は、ヨーロッパ近・現代史研究の世界的な権威で、多くの著書のほかBBCのために「西欧文明の功罪/TRIUMPH OF THE WEST(1985)」制作に加わるほか、1988年から監査役として重責を担うなど広くその功績を認められた歴史学の重鎮です。)

いずれも分売可

各巻 ¥38,000(税別)

■各巻タイトル

1. 希望の時代
2. 戦場
3. 赤旗
4. 失われた平和
5. スポーツ熱
6. オン・ザ・ライン
7. 大脱走
8. パンの列
9. マスター・レース
10. 総力戦
11. 素晴らしい新世界
12. にわか景気
13. 今こそ自由を



14. 原爆投下
15. アジアの台頭
16. アパルトヘイト 南アフリカの苦悩
17. 絶滅の危機に瀕した惑星
18. テレビの力
19. 延びる寿命
20. 大飛躍
21. 新世代
22. 女性進出
23. ゲリラと民衆
24. 神の抵抗
25. 民衆の力
26. バック・トゥ・ザ・フューチャー

CDI

BBC(英国放送協会)ワールドワイド社 日本総代理店
 株式会社 キャリア・デベロプメント・インタナショナル
 グローバルメディアグループ
 東京都港区三田3-13-16 三田43 森ビル7F 〒108-0073
 TEL.(03)5445-2959 FAX.(03)5445-2937

SONY
Group

1999年10月

通巻第389号

日本洋書協会

編集者 高橋 紘

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室

☎(03)3271-6901 FAX.(03)3271-6920

印刷所=藤本綜合印刷株式会社